

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：http://j-jafra.jp/

巻頭レポート

交通広告を未来へつなぐために

～大学生を対象とした
交通広告インターン・調査研究事業(中間報告)～



JR 名古屋駅桜通口

私たちの日々の事業活動の中で、ややもすれば見落とされ、忘れられていることはないだろうか。交通広告は、いまの世の中になくてはならないものであって、人々や社会に役立っているのだろうか。そして、その未来は？

中部支部では今年、新しい取り組みとして、地元の大学生に参画してもらい、交通広告の未来を探るアプ

ローチを始めてみた。

大学生といえばティーンからM1・F1にまたがる交通広告の大切なオーディエンスであり、クライアント各社もここをターゲットに交通広告メディアでの展開を図る機会も多い。そうした彼らが、単に「見る、見ない」とか、「知っている、知っていない」ではなく、交通広告を「どう感じているのか」、そして「より面白くする」ためのアイデアや表現みいたいものをどこかに秘めていないだろうか。そんなやりとりを半年に渡って続けている。

7月23日、支部総会を前にこの事業に参画してくれることとなった地元金城学院大学の学生28名へのオリエンテーション。学生と私たちが、交通広告について、「聞かせてほしい」、「教えてほしい」、「こうすればどう?」をお互い遠慮なく、楽しく話し合っ



JR 名古屋駅メディア視察

顔合わせを行い、学生には支部総会の会員向けセミナーにも特別参加してもらった。

興味津々に、JR名古屋駅メディア視察ツアー

8月7日、いよいよ本事業が本格的にスタート。中部エリアで年間の稼働率が9割を超えるJR名古屋駅のSPメディアを中心にプロジェクトメンバーのアテンドの下、交通広告メディアの視察ツアーを行った。視察後、地元でも有力な出稿実績

中部支部
「学生インターン企画」
運営プロジェクトチーム

のクライアントである株式会社坂角
総本舗の安藤取締役マーケティング
部長から、「交通広告の魅力」そのこ
だわりのバイキングとクリエイティ
ブ」についての話を聞かせていただ
いた。あわせて、ジェイアール東海
エージェンシーの川合氏からは、当
日視察を行った各メディアの概要、
とりわけ誰が使っているのか、どん
な使い方をされているのかのレク
チャーを行い、交通広告メディアに、
もう少しだけ近づき、親しくなっ
てもらう機会とした。

学生と広告会社若手が ホンネで語り合う交流会

今回の事業のもうひとつの狙いは、
「未来」を担う人たちの養成、という



学生と広告会社若手社員の交流会

と少し大袈裟だが、そうしたきつ
けづくりである。8月28日の第3回
会合では、地元の広告会社の若手社
員との交流会を開催した。若手社員
の皆さんには話すだけでなく、取り
扱っている商品や新たに開発した媒
体のP.V、クリエイティブ作品など
を持ち込んでもらい、よりリアルな
自己紹介を行ってもらった。意見交
換では学生から「業界の展望が見え
づらいのでは」という辛辣な意見を
はじめ、「やりがい」や「女性の視点
で」などといった話題で盛り上がっ
た。終了後のアンケートには「今後
の広告業界への就職活動に役立てた
い」といった感想も寄せられている。

学生たちの感性で挑む デジタルサイネージ

交通広告を知ってもらい、より楽
しんでもらうためには、「手掛けてみ
る」ことがいちばん効果的ではない
だろうか。ということで第4回以降
は、いよいよ実際の交通広告メデ
アのクリエイティブ、アイデアをエ
グゼキュートしていくことを学生と
私たちが協働して行っている。選ん
だメディアは「デジタルサイネージ」。
ジェイアール東海ツアーズ様に協賛
いただき、「冬こそ飛騨路」という旅
行商品をテーマとした15秒の映像作
品づくりが始まっている。学生を5



デジタルサイネージ制作のオリエンテーション

つのグループに分け、それぞれにア
ドバイザーとしてプロジェクトチー
ムのメンバーが1人つき、相談やア
ドバイスに乗る。11月中旬まで3回
に渡って制作状況のチェックとブ
ラッシュアップ作業が続く。

未来を探る試みは、 まだまだ続きます

制作作業に並行して、プロジェ
クトメンバーである東海廣告の高
橋氏、アイセイ社の加藤氏、弘亜
社名古屋支社の小出氏の各氏から
は、「クリエイティブ」、「営業」
、「メディアプランニング」の各テー
マでのセミナーが会合ごとに行わ
れ、交通広告についての学生たち
の関心を高めている。



各グループでの
プレゼンに向けての打ち合わせ

そして11月下旬には学生による協
賛社へのプレゼンテーションが行わ
れ、12月初旬に作品の審査結果の発
表と終了式が予定されている。また
最優秀作品はJ・ADビジョン・C
entrar（名古屋駅新幹線口）
で12月23日から年明けの1月5日ま
での間、実際に放映される。

今回、インターン事業に協力いた
だいている金城学院大学からも一連
の取り組みには高い評価をいただい
ており、また学生たちも毎回、高い
モチベーションで積極的に制作活
動に参加している。

中部支部の初めてのこれらの取り
組みはプロジェクトを立ち上げてか
ら、試行錯誤する中進んでいるが、
学生との間のコミュニケーションの
とり方や各回のアンケートの感想の
集約と分析の結果をどのように業界
に、あるいは広告会社の事業に生か
していくかなど、今後の課題も少な
くない。しかし、参画してもらって



「弾丸登山」

理事 吉良 次男 (株式会社ジェイアール四国企画)

いる学生はもちろんだが、これからの交通広告の未来を担う若い人たちに、勇気や元気を与え、よりよいメディアとして交通広告がその価値を

高めていくための果敢なチャレンジを行っていきつきっかけになれば素晴らしいことである。
年明けには一連の事業の成果がレ

ポートにまとめられ、支部会員各社と共有される。いきいきと自由闊達に、決してガラパゴス化せず、交通広告がまた楽しいコミュニケーション

ンを生んでいけるように、公益法人にふさわしい、社会との関わりを大切にした事業をこれからも続けていきたいと思う。

大学時代は軟弱登山部（少し前に、新人がいなくなり、廃部）に所属し、主に北アルプス等を縦走していました。国鉄に就職してからは超勤ばかりの職場のため、山から遠ざかっていました（麻雀と酒の世界に引き込まれていました）。JR四国時代は、休日前後にまたがる出張の時に、靴と雨具持参で全国の有名で楽な日本百名山に日帰り登山をしていました。近場の日帰りハイキングはずっと継続していましたが、どうしてこうなつたか記憶にないのですが、突然、高速道路利用登山を始め9年となりまして。金曜日に帰宅して、高松市の自宅から車で明石海峡大橋を経由し、滋賀県の大津パーキング辺りで仮眠して登山口を目指します。土曜日の夜は山小屋かテントで1泊し、日曜日の午後下山して、麓の温泉に入り、日曜日の夜に



潤沢紅葉

帰宅するという体力と交通事故の危険（1200キロ以上の走行距離）と隣あわせの冒険？（弾丸登山）を始めてしまいました。ただし、7月から10月の安全な季節に限定し、年に数回の冒険です。今年の8月は黒部ダム近くの日本3大急登のブナ立尾根を登り、烏帽子岳からランブの山小屋で有名な船窪小屋経由で下山するコース、9月は富山県立山の室堂から剣岳の周辺を巡って黒部トロツコ列車の終点の樺平（けやきだいら）までの水平歩道コース、10月は北アルプス穂高岳潤沢の紅葉見物コースに行ってきました。

ところで、登山をする年齢層は、40年前は大学・社会人等の青少年が大部分でした。それが15年前頃から熟年女性のツアーが主流となり、60歳以上に山は占拠され、私は年少クラスでした。ここ数年、カラフルな若い山ガールが増加するとともに、若い男性も見られるようになってきたことにより、各年代がそれぞれの山を楽しむ時代がやっと訪れたという感じがします。また、登山装備に関しても格段の進歩を遂げています。昔に比べて半分以上軽い丈夫なテント、ゴム合羽から蒸れない雨具に進化し、食料もおいしいレトルト製品が充実、服装も乾きやすい下着等ができて着心地もアップしました。調理器具もガソリンからガス等に変化しました。そのせいか昔はあまり見なかった単独でのテント泊をする人が増えてきました。そろそろ、ゆつたりとした余裕のある山旅とかネパール・スイス・カナダ等の海外の山をトレッキングしたくなってきたのですが、どのような方法で実行するか考えるだけでも楽しい時間が持てそうです。



目を見はる景色

今回の広場もお楽しみに。

近畿・中国・北陸支部

交通広告実務者研修を 開催しました

10月4日（金）毎日ビルディング大阪本社 毎日インテシオ4階会議室において、平成25年度「交通広告実務研修」を開催しました。今回は、総勢65名の会員社の皆さまにご参加いただきました。

第1部は、昨年同様、「交通広告ビジネス概論」を活用し、基礎知識として直近1年間の東京の事例紹介が行われ、第2部は、今年改訂版が発行された「絵で見る安全作業マニュアル」をもとに、交通広告の掲出・撤去作業時の安全対策に関する講義を行いました。参加された皆さまは講師の方々の言葉に熱心に聞き入っていました。



満員の研修会

清水副支部長挨拶

昨年頃より、ようやく広告業界にも明るい兆しが見えはじめ、活発に動きだしてまいりました。ここ数年、スマートフォン・タブレット端末の急速な普及により、我々の行動様式にも変化がみられます。また、7年後の2020年に開催が決定しました東京オリンピックにむけて、交通機関のさらなる整備が行われ、交通広告を取り巻く環境が大きく変化していくものと考えて

おります。

本日は講師としてそのオリンピック開催地の東京より、メトロアドエー



(株)近宣代表取締役 清水英明氏

ジェンシーの金沢氏にもおいでいただいておりますので、現在の東京の変化や、大阪との相違点などについて講義の中から皆さんに感じ取っていただければと思います。

また、安全対策に関しましては、永遠のテーマであると考えています。過去の事例を検分し、何度も繰り返し安全対策について考えることと、常に危機感を忘れず取組んでいくことが重要です。

皆さまも、今日の研修から貪欲に情報を収集して、ご自身の仕事に大いに役立ててください。

カリキュラムと講師は次のとおり。

第1部

「交通広告ビジネス概論」

交通広告の種類・名称、交通広告の特性、交通広告の市場規模・事例紹介

講師：(株)メトロアドエージェン

シー

営業媒体局媒体第二部長

金沢 一幸氏

第2部

「交通広告の掲出・撤去作業時の安全対策に関する講義」

講師：(株)アド近鉄

交通広告事業本部副本部長

片岡 伸泰氏

交通媒体第一部係長

仙度 啓章氏

最後に、ご多忙な折り今回の研修にお時間を割いていただきました講師の皆様方に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

(以上)

首都圏支部

首都圏支部セミナーを開催しました

11月11日（月）、南青山会館に講師をお招きして、第2回首都圏支部セミナーを開催しました。



講師の岩崎浩氏

日時：11月11日（月） 14時30分

会場：南青山会館

講師：(株)ファミリーマート

総合企画部マーケティング室長

岩崎 浩氏

「基本理念：ファミリーマートらしさを重視したコミュニケーション」

デジタルメディアを含む

ジェネレーションに応じた展開

当日は支部会員48名（27社）

が出席し、現在、日本全国に約1万店舗を展開し、1日あたりの来店客数は約1000万人という、ファミリーマートの広告展開について、プライベートブランドによる他社との差別化、SNSを利用した年代別お客さま参加型の商品開発、といった

内容に熱心に耳を傾けていました。

また首

都圏支部

では12月

4日にJ

R恵比寿

ビルにお

いて、交通広

告実務研修を

開催します。

この研修

は、交通広告

の実務に携

わってまだ経

験の浅い会員

社の方を対象

に、

・交通広告ビ

ジネス概論

「交通広告の

- 企業概要ご紹介
- 基本理念「ファミリーマートらしさ」とは？
- 主な活用広告媒体
- 現在重視している外部環境変化
- 外部環境変化を踏まえた中心戦略
- ジェネレーションに応じた媒体活用
- 事例：ソーシャルメディア活用
(公式アカウント「ファミマなう」の活用と効果検証方法)
- 本日のまとめ

レジュメ

概要と実務に関する講義

・ 広告展開事例研修「交通広告の展開事例に関する講義」

・ 掲出基準研修「交通広告の倫理綱領、掲出基準に関する講義」

・ 安全研修「交通広告の掲出・撤去作業時の安全対策に関する講義」

などの講義を行います。

今後の参考にいたしますので、受講された方からのフィードバックなどもお待ちしております。



熱心に聴講する支部会員の皆さま

第2回「技術商品開発研究会」を開催しました

技術開発委員会では、今年度の目標に掲げている、「スマートフォン・タブレット端末の普及と機能高度化に対応した鉄道広告の取組」
 「デジタルサイネージに関する情報の共有化とネットワーク化の促進」
 「新技術を活用した鉄道広告の取り組み」
 「その他鉄道広告に応用可能な先端技術情報の収集と共有化」
 のテーマに基づき、当委員会の下に「技術商品開発研究会」設け、10月4日（金）に第2回「技術商品開発研究会」を開催しました。

日時：10月4日（金） 15時～17時
 会場：JR恵比寿ビル 10F

（株）ジェイアール東日本企画
 交通媒体本部会議室

内容：
 ・スマートフォンと交通広告を連動させたプロモーションの事例検証と水平展開について
 ・ビッグデータの活用方について

・韓国視察研修について

この韓国視察研修については、今年度の委員会活動目標の一つとして「ICTを活用した鉄道広告の最新事例の視察」を挙げておりましたが、研究会で日程などが決定され、11月14日（木）～11月16日（土）の3日間で実施いたしました。

坂田委員長をはじめ、6社の会員社より12名が参加して韓国を訪れ、ソウル市地下鉄公社、韓国国鉄（Korail）などを視察しました。
 なお、この視察旅行の詳細につき



デジタルサイネージ

ましては次号のJAFFRANEWSに掲載予定です。



近未来…

【韓国視察日程】

1日目 11/14(木)	午前 日本国内最寄り空港より仁川空港へ 午後 仁川空港集合 空港内媒体等視察 視察後ソウル市内へ地下鉄媒体、清溪川広場、江南等視察
2日目 11/15(金)	午前 KORAIL 社訪問 意見交換 午後 KORAIL 社関係施設、媒体視察
3日目 11/16(土)	午前 ソウル市内観光等自由行動 午後 仁川空港または金浦空港より日本国内最寄り空港へ



「エキからエコ。」ポスター
掲出枚数集計結果

8月末で終了した第7回地球温暖化防止キャンペーン中に全国で展開した「エキからエコ。」のポスター掲

出枚数を集計いたしました。枚数は2012年とほぼ同じですが、今回はデジタルサイネージの掲出面が多かったので、より多くの皆さまの目に触れる機会があったと思います。また来年もご協力をお願いいたします。

第7回地球温暖化防止キャンペーンポスター掲出枚数

支部	電鉄会社	中吊ポスター(B3)			駅ポスター(B1)			駅ポスター(B0)			
		※延べ枚数=総枚数+掲出回数(1期=2&3日換算)	※延べ枚数=総枚数+掲出回数(1期=7日換算)	※延べ枚数=総枚数+掲出回数(1期=7日換算)	延べ掲出回数	延べ枚数	延べ枚数	延べ掲出回数	延べ枚数	延べ枚数	
北海道	JR北海道	330	2,640	10,560	7	56	112				
	札幌市営地下鉄	240	1,320	2,640	27	116	232				
東北	JR東日本(盛岡)										
	JR東日本(仙台)				4	480	1,920	4	64	256	
	JR東日本(高崎)				6	87	348				
	JR東日本(水戸)				4	85	340				
首都圏	JR東日本(東京)				52	4,650	13,950	52	480	1,440	
	(*)つばエクスプレス	13,200	26,400	52,800							
	(*)東京臨海高速鉄道										
	東京モノレール	60	480	1,920	5	90	360				
	東京地下鉄				60	1,500	3,000				
	(*)東葉高速鉄道	6,600	26,400	52,800							
	(*)埼玉高速鉄道										
	東京急行	1,950	14,400	36,000	30	1,170	3,510				
	横浜高速鉄道				6	362	1,448	6	30	120	
	横浜新都市交通				11	372	1,488	11	33	132	
	京浜急行	1,600	9,600	19,200	36	700	2,100	8	50	150	
	小田急電鉄	1,000	4,000	9,200	20	695	2,085				
	京王電鉄	970	3,880	19,400	40	600	1,800				
	西武鉄道	1,260	10,080	30,240	40	622	1,866				
	東武鉄道	1,280	8,360	41,800	22	1,530	6,120				
	京成電鉄				12	440	1,320	12	50	150	
	(*)新京成電鉄	550	4400	13200							
(*)北総鉄道											
都営地下鉄	3,630	9,760	29,280	39	592	1,776					
相模鉄道	460	2,000	4,000	25	345	690					
中部	JR東海(静岡)	250	1,000	2,000	8	40	120	8	40	120	
	JR東海(名古屋)	440	7,760	15,520	20	510	1,530				
	名古屋鉄道(全線)	1,050	2,100	6,300	10	124	124				
	近畿日本鉄道(名古屋)	350	2,000	6,000	15	182	364				
	名古屋市営地下鉄	820	3,400	3,400	30	200	400				
近畿	JR西日本(大阪)	3,450	10,350	20,700	31	565	1,130	10	100	200	
	JR西日本(金沢)				4	28	56				
	JR西日本(岡山)				4	90	180	4	20	40	
	JR西日本(広島)				4	85	170				
	近畿日本鉄道(大阪)	1,450	7,350	14,700	12	328	656				
	阪急電鉄	1,650	11,390	22,780	10	500	500	10	50	50	
	阪神電鉄	270	1,700	3,400	10	332	332				
	山陽電気鉄道	250	1,750	3,500	10	80	80				
	京阪電鉄	1,600	3,200	6,400	20	330	330	10	50	50	
	南海電鉄	1,600	3,200	3,200	20	345	690				
	京都市営地下鉄	450	1,800	3,600	48	192	576				
	神戸市営地下鉄	100	400	800	10	50	150				
	四国	JR四国	56	280	1,960	2	85	340			
		JR九州	1,695	5,260	15,780	32	330	1,320			
	九州	西日本鉄道	770	2,280	4,560	68	550	1,650			
合計		49,381	197,340	474,440	814	19,438	55,163	135	967	2,708	

デジタルサイネージ実施状況

支部	電鉄会社	掲出駅	期間	面数
北海道	JR北海道	札幌駅	8月5日~9月1日	32
首都圏	JR東日本	日立駅	8月5日~9月1日	1
	JR東日本	東京駅他14駅	8月12日~9月1日	160
	京成	日暮里駅	8月5日~9月1日	1
中部	JR東海	名古屋、新大阪	8月5日~9月1日	58
近畿	JR西日本	大塚他駅	8月12日~8月18日	76
	近鉄	京都、大阪阿倍	8月12日~8月26日	5
四国	JR四国	高松駅	8月5日~9月1日	2
九州	西鉄	福岡(天神)駅	8月7日~8月31日	2
合計				337



特設ホームページのアーカイブスより

倫理委員会

第4回「鉄道利用マナー啓発キャンペーン」の実施について

今回で4回目となるマナーキャンペーンですが、国土交通省より本年度も展開したい旨の連絡を受けており、現在各鉄道会社局と国土交通省との間で調整中ですので詳細が決定次第ご連絡いたします。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

〔期間〕

2014年1月中旬～4月下旬頃(予定)

〔参加鉄道会社〕

昨年の44社に加え、中小私鉄、地方公営交通約40社が参加予定

〔ポスター〕

B1、B2、B3を各2種類

過去のキャンペーン、ホーム転落防止、及び「優先座席利用」という2つのテーマを継続し、利用者に対してイメージを浸透させる観点から、昨年度までのデザインの微修正のみとします。

また、今回は車内吊りのみ展開した、「優先座席利用」についても駅貼りを展開する予定です。

環境委員会

アンケートにご協力をお願いします



* JAFRA 環境方針ポスター

環境委員会は10月9日(水)、(株)ジェイアール東日本企画13Fプレゼンテーションルームにて、平成25年度第1回委員会を開催しました。

そこで、2012年10月に全会員社に配布した「JAFRA環境方針」ポスターに関する「配布後の状況把握」について、アンケート調査を実施することにいたしました。

このアンケートは各社1枚ずつ、会員各社の代表者、または担当者あてに、当JAFRA NEWSと同梱いたしますので、アンケート用紙がお手元に届いた方は、お手数ですが12月16日(月)までに回答をお寄せください。

事務局からのお知らせ

これからの予定

・第2回理事会

日時：12月6日(金) 13時30分～

会場：J R 恵比寿ビル

(株)ジェイアール東日本企画
会議室

・2014年広告界合同年賀会

日時：2014年1月8日(水)

15時30分～17時

会場：帝国ホテル本館2階

「孔雀の間」

- 会員社の代表者に変更になった場合など、変更届はホームページ(<http://j-jafra.jp>)の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力をお願いします。

編集後記

10月末にハロウィンが終わると、色々なところでクリスマスソングを耳にするようになり、あと1か月以上もあるのに…とちょっと急かされた気持ちになりましたが、すでに暮れも目の前です。2014年はビッグイベントが目白押しですので、明るい話題をお届けできたらいいですね。午年ということで、飛躍の年にしましょう。少し早いですけど、今年もありがとうございました。そして、皆さまの2014年の目標、お聞かせください。

- メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。

information@j-jafra.jp



● 次号Vol.22は2月1日発行予定です。お楽しみに。